



香雪堂康之為詩書卷之

相別錄之始也之十三年

古希傳士不始於開統

漫汗一休子葉物之云

演說之末文又之後華

女一のこは有之品之

十之知五成因成之品也

中一も物事之有之品也

廿四五古り之知之品也

十之知五成因成之品也

以之知五成因成之品也

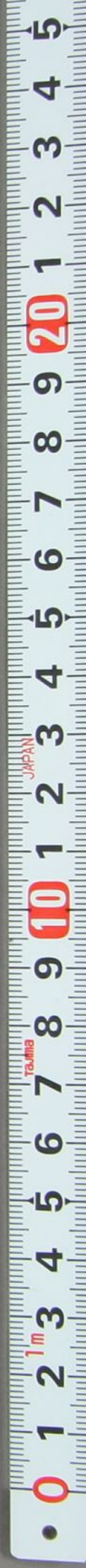
十之知五成因成之品也

七月廿一日 香雪堂

大陽堂信殿



終リニ此調査ノコトニ付テ一言致シテ置キタイノハ、千葉縣ガ  
此調査ニ手ヲ着ケラレタノハ、此調査ハ餘程確實ナモノト思ヒ  
マスガ、誠ニ結好ナコトダト私ハ考ヘル、此調査ハ個人ガスルカ  
公共團體ガスルカデスガ、前申ス通り隨分問題ガ複雑デアリマ  
ス、所デ個人ノ調査トナルト自分ノ目的トスル處ニ偏シ易クテ  
外ノコトガ粗漏ニナル、個人ナレバ大抵開墾ガ目的デアル、ズル  
ト開墾ノ方ノ調査ガ進ミ其外ノ調査ガ粗漏ニナルト云フコト  
ニナル、何ウモ色々ナモノガ雜ツテ居ル問題ノトキニハ公共團  
體ガ其ノ調査ヲ引受ケテヤルト云フコトガ宜イニ相違ナイ、然ラ  
バ國ガヤツタラ何ウダト云フコトニナルガ國ハ中々手ガ届カ  
ナイ、利根川沿岸トナルト大キナ問題ダカラ利根川改修ノ調査  
ハ國ガヤリマシタガ夫ガ爲メニハ印旛沼ヲ問題外ニシテシマ



ツタスフ印旛沼ガーツ横途ニナツテシマウトマダマダ印旛沼ヨリ外ニ國ガ引キ受クベキ大キキ調査ガアルト云フノデ手ガ届カナクナル其所デ公共團體トシテ直接利害ノ關係ノアル千葉縣ガ此調査ヲシタト云フコトガ誠ニ此事業ノ爲メニ結好ナラデアル、國家ノ爲メニ慶賀スベキコトデアリマス、此事業ハ何時カ一度屹度成立ツト私ハ確信スル、歐羅巴大陸ノ例ヲ見ルト殊ニ佛蘭西、以太利、和蘭陀アタリノ例ヲ見マスルト、逆モ印旛沼ハ長イ壽命ハナイ、歐羅巴デハ年々沼ノ數ガ減ルト云フ、皆ナ疏水シテ耕地ニスル中々骨ヲ折ツテヤツテ居ル、所デ印旛沼ハ水面ガ二千六百何町歩之ガ田地ニナレバ水路ヲ差引テモ二千三百町歩ノ田地ガ出來ル、水害ハ二十九年ノヤウデアルト水害反別ガ四千何百町歩、夫レ丈ケ大キナ廣イ關係ノアルモノヲ將來擲

ツテ置クト云フコトハ逆モ出來ルコトデナイ、何時カ一度何人がヤルカ國ガヤルカ縣ガヤルカ個人ガヤルカ此工事ハ早晚必ズ成立ツト確信スル、夫ニ歐羅巴デハ沼ノ排水ニ就テ大變重キヲ措イテ居ル問題ガアル、衛生問題デス、日本デハ平氣デ居ルヤウデスガ、印旛沼沿岸ニハ瘡ガ流行ルケレドモ慣レタ人ハ何トモ思ハナイ、衛生問題ニハ至ツテ冷淡ノヤウニ思ハレルガ佛蘭西ナドデハ沼ヲ改良スルノハ一ハ開墾ガ目的デアアルガ衛生ト云フコトモ亦餘程大切ナ目的ニナツテ居ルヤウニ私ハ聞キ及ンデ居ル、此點カラ言ツテモ此仕事ハ何時カ成立ツモノト私ハ考ヘル、夫レニ付テ此位ナ正確ナ調査ガ出來テ居ルノハ餘程宜イ仕事ヲ千葉縣ハ遺コシタト後人ガ言フダラウト思フ前ニモ申シタ通り監督署ノ調べ及ビ大明會ノ調べガ今度ノ調査ノ材

料トシテハ大變ニ役ニ立ツタ、役ニハ立ツタガ惜イカナ圖面ト  
實地トノ突キ合セガ十分ニ出來ナイ今度ノ調査ハソシナコト  
ハナイ、今度ハ要所々々ニ石柱ヲ埋メテ置イタデアアルカラシテ、  
此調査ガ出來上ルヤ否ヤ直グニ其工事ニ掛レバ勿論之ヲ土臺  
ニシテ施行スルガ、何ニカ事故アツテ延ビルトシテモ遠イ未來  
デナケレバ矢張り此調査ヲ基礎ニシテヤルコトガ出來ル、是ガ  
其時ノ參考ニナルコトハ大明會ノ調へ監督署ノ調べガ此調査  
ノ參考ニナツタ位ノ比較デハ決シテナイト確信スル、此ノ如キ  
モノヲ今千葉縣ガ遺シテ置クノハ誠ニ結好ナコト、考イマス

八俣重信殿

要詞



沖繩  
本島  
原集

